

■サークル関連基本のマナー■

コミケットのマナーの話となると、『非常識な一般参加者 VS 迷惑を被るサークル』という構図で語られることが多いが、当然サークルの側でも守るべきマナーというものはある。とくに今回初めてサークル参加するという参加者は、サークル側の責任をよく認識しておいてほしい。

- ①代表だけでなく、サークルのメンバー全員でまずは『コミケットアピール』を熟読する。タイムスケジュールの把握はサークル参加の基本だ。その上で事前にサークル通行証を渡しておく。当日朝にサークル入場口の前で待ち合わせて通行証を渡す方法は確実性が低く、会場混雑の原因となるためできるだけ避けよう。また、もし通行証が余っても有償無償を問わず、自分の信頼できる身内以外に譲渡してはいけない。
- ②朝サークルスペースに到着したらまず両隣にあいさつをしよう。朝イチで声をかけてしまえば、以降、何かあった時でもお互いに声をかけあいやすい雰囲気をつくれる。一日を隣り合って過ごすサークル同士あいさつは基本である。コミケットカタログにもそう書かれている。
- ③サークルに与えられたスペースを逸脱しないこと。テーブルのセンターを超えてテーブルクロスを敷いたり、頒布物を並べないことは当然として、**テーブルの背後の空間でも、隣のスペースまで荷物や在庫をはみ出させないよう十分注意が必要**である。とくに背後のスペースは両隣（島中ならば更に背中合わせのサークルとも）と荷物が混在しやすいので、荷物を引っ掻き回していると防犯の観点からも齟齬を買うことになりかねない。サークルの荷物はダンボール箱などにきちんとコンパクトにまとめ、テーブルの下など簡単に他人が手を出せない場所にしまっておこう。
- ④自サークルの配置場所、サークル名を大きめに書いた看板を用意しておこう。参加者が自分の位置を確認するのに役立つ親切である。また、最近ではサークルスペースをいきなり撮影されるというアクシデントも多いので、できるだけ『サークルスペースおよび頒布物の撮影を禁止します』という掲示をしておくべきかもしれない。
- ⑤サークルの貴重品、釣り銭、売上などはサークル代表がきちんと管理し、サークルスペースを無人にする場合には頒布物に布をかけ、戻る時間を明記するなどして、貴重品類は必ず持って離れること。個人サークルの場合は一層周囲との連携が必要となる。積極的に左右のサークルと交流を持っておこう。



●総員インフルエンザ&風邪予防！

冬季の良からぬ風物詩がインフルエンザの全国的流行である。寒空の下何十万人もが密集（しかも年末や製作作業で疲労困憊体力低下している参加者も大勢…）するコミケットはパンデミックの絶好の温床といえるので、全参加者が危機感をもって自衛に務めなければならない。インフルエンザは冷たく乾燥した空気を媒介して喉や鼻の粘膜から感染することが多い。マスクをしたりアメ、ガムやこまめな水分補給で喉の乾燥を防ぐのは手軽で有効な防衛手段だ。

また、指に付着したウイルスを食べ物と一緒に体内に入れてしまうケースも多いので、アルコール除菌タイプのウェットティッシュを持参してこまめに手指を拭く、トイレの際、帰宅の際には必ず石鹸を使ってよく手を洗いうがいを念入りにはすることは全員が必ず行ってほしい。

また、体温の低下は免疫力の低下に直結するので、コミケット前後はしっかり入浴し、温かい栄養ある食事を摂るようつとめよう。会場から持ち帰るのは戦利品だけで十分だ。

